

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2024年上半期に発生した抗議デモの件数は2,383件で、前年（4,351件）比で約45%減少しました。

社会保障サービスの向上を訴えたデモが最も多く、次いで賃上げを求めるデモが多く発生しました。

また、大統領選挙を前にして、一部野党関係者に対する公職就任資格停止や野党構成員の逮捕件数の増加、選挙キャンペーンのあり方に不満を持つ市民による政治参加の権利を訴える抗議デモが増加しました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）全般

当地治安当局によれば、2024年上半期の全国の犯罪発生認知総件数は6,189件で、前年同期比で約29%減少しました。一方、全国的に窃盗事件が微増しています。

（2）各論

同当局によれば、5月に身代金目的の誘拐事件が3件発生し、上半期の累計（1月に3件、2月に2件）で8件となり、前年同期比で横ばいとなっています。

カラカス首都区では、多くの罪種の発生件数が減少傾向にありますが、治安当局に抵抗したために死亡する事案が4月から6月の間に307件発生し、前年同期比で増加しています。

（3）邦人等の被害事案

なし。

3 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、地方都市において発生した乱闘事件の現場等において、手榴弾を含む銃火器を治安当局が押収しました。また、密輸中の大量の違法薬物が国境付近で発見され押収されています。違法薬物密売組織の武装化も認められ、治安当局の取締から逃れるために銃火器を使用する可能性が高く、万が一そうした取締りの現場に遭遇してしまった場合は危険です。引き続き、これらの地域へは近づかないようにしてください。また、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

4 誘拐・強盗事件発生状況

当地治安当局によれば、2024年5月中に、国境付近と地方都市において身代金目的誘拐事件が3件発生しました。また、被害届が出されず治安当局が把握していない誘拐事件も発生している模様です。

また、比較的安全とされている地域においても、道を尋ねるように見せかけて近づき、被害者を脅迫する強盗事件が発生しているようです。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段、時間帯を十分に検討してください。また、安全といわれているような場所でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。